

## 南砺市平和都市宣言(案)に対する意見募集結果

意見	ご意見の概要	ご意見に対する市の考え方
1	<p>平和都市宣言(案)について、意見公募を実施されたことについてはその意を多とします。</p> <p>内容については、主体的行動の文言が無く、単なる願望を記述した文書となっており、力強さに欠け、読んだ人に感銘を与えるような内容にはなっていないと思います。案の最後の三行を「日本国憲法にうたわれている平和のうちに生存する権利を確立するため、ここに平和都市宣言をするものです。</p> <p>一、私たちはすべての国の核兵器の廃絶を全世界に強く訴えます。</p> <p>一、私たちは「核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず」の非核三原則を将来にわたり厳守します。</p> <p>一、私たちは戦争の悲惨さを未来を託す子どもたちに伝え、平和を守る行政をします。」に変更されることを提案致します。</p>	<p>表題、内容とも、幅広い層に対して、何のために南砺市民が宣言するのかを理解しやすい、そして、南砺市らしく親しみやすいものとする必要があると考えています。</p> <p>当該案でも南砺市民の決意は十分表現されているものと考えますが、南砺市がこれまで国内外の人々と友好交流を図り相互理解を深めてきたことや将来を担う子どもたちに戦争の悲惨さを語り伝えていくことなどは、平和を希求する上で欠かせないものとの思いから、これらに相応しい文言を追加するなどして、宣言文を修正しました。</p>
2	<p>文章は、必要十分な内容でわかりやすく簡潔であることが肝要と思います。以下の文言、語句を追加・挿入されるなどして改定されますよう提言します。</p> <p>1 南砺市や市民の国際的な人的・文化的交流そのものが平和に資すること、また国際交流の中で宣言の趣旨を意識するためにも「世界の友好親善・相互理解」の文言を追加されたい。</p> <p>2 表題を非核平和都市宣言とされるよう提言します。</p> <p>3 非核三原則である「核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませず」という語句を明示してほしい。</p> <p>4 子どもたちに戦争の悲惨さを語り伝える平和教育や平和のための施策は、宣言に必要な内容だと思われます。</p> <p>5 人々の平和的生存権を確認するためにもこの文言を挿入されたい。</p>	
3	<p>文章としてその意は分かるのですが、何となくメッセージが伝わってきません。市民と行政が目的達成のためどういう行動をするのかなど、メッセージ性の高いものが大事だと思います。</p> <p>「平和を守る行政の推進に努める」とか「平和教育の推進に努める」等、行政としての意思表示を入れてはいかがでしょうか。</p>	